

競技マナー20カ条



[自分に厳しく、人に優しく]

- 1 対局に際しては、「自分に厳しく、人に優しく」を心がけましょう。
- 2 お仲間に不快感を与えないよう、身だしなみに気を配り、正しい姿勢を心がけましょう。(卓にひじを置いたり、足組みは慎みましょう。)
- 3 指輪など尖ったものは、できるだけ避けましょう。
- 4 ゲーム開始時に「お願いします」、ゲーム終了時には「ありがとうございました」と挨拶しましょう。
- 5 牌がセットされたら、相手がツモりやすいように牌山を右斜め前に出してあげましょう。
- 6 牌山に「切り込み」を入れるのは、やめましょう。
- 7 配牌終了後、開門位置の人は、リンシャン牌が崩れないよう下段に下ろし、そのあとドラをめくりましょう。
- 8 「待たせない」こと。「牌の強打」は厳に慎み、捨牌は「6枚切り」にしましょう。
- 9 「リーチ」、「ポン」、「チー」、「カン」、「ツモ」、「ロン」等は明確に発声し、そのあと動作に移りましょう。
- 10 リーチは、「リーチ」という発声、「打牌の横向け」、「リーチ棒の供託」の順序で行い、リーチ棒は所定の位置に丁寧に置きましょう。千点棒がない場合は、置く前に両替してもらいましょう。
- 11 チー、ポンは、「発声」「牌の明示」「牌の取り寄せ」の順序で行い、そのあと打牌しましょう。
- 12 暗カンの時も4枚を皆さんに見せてから、リンシャン牌をツモりましょう。
- 13 手牌は、伏せないようにしましょう。リーチの時も同じです。
- 14 リーチの後は、はっきり分かるようにツモ切りしましょう。
- 15 アガった時は、牌を相手に見やすく並べてから倒すようにしましょう。
- 16 「裏ドラ」は、表ドラ、カンドラと一緒に並べて、全員に見えるようにしましょう。
- 17 点棒の支払いは、他の人と混同しないよう置き場所を違って置き、また受け渡しが終わるまでは手牌と牌山を崩さないようにしましょう。
- 18 対局中の「口三味線」や対局相手への批判など言動には細心の注意を払いましょう。また、局終了後の「解説」も慎みましょう。
- 19 対局していない時の立ち見、覗き見等は慎みましょう。
- 20 携帯電話は、マナーモードに設定して、急用以外は使用しないようにしましょう。ただし、ゲーム中は使用しないで下さい。